

## Air アプリケーションの紹介「データベース」

総合情報基盤センター 技術専門職員 畑 篤

### 1. はじめに

通常 OS が異なると、アプリケーションの実行ファイルは、その OS に合わせて構築する必要があるため、それぞれの OS 用にアプリケーションを作成する必要がありますが AIR (Adobe Integrated Runtime) アプリケーションでは、異なった OS 上においても、アプリケーションを実行することが出来ます。

また、AIR には、DB エンジンとして SQLite が実装され、ActionScript から SQLite 形式の DB ファイルを扱えるようになっています。

SQLite は MySQL や PostgreSQL といった DB と同じ RDBMS (リレーショナルデータベース管理システム) で SQL92 の機能の多くを実装しており、SQL で DB 操作を行います。

SQLite の特徴としては、MySQL や PostgreSQL とは異なりサーバを用意する必要がなく、1つの DB に対して1ファイルという非常に簡単な構成になっており、扱いが容易で手軽に利用することが出来ます。

ここでは、AIR を利用したソフトウェア管理データベースを紹介します。

### 2. データベースの作成

図 2-1 の softdb (AIR アプリケーション) を起動させると、データベースファイル (図 2-2) がデスクトップ上に作成されます。すでに作成されている場合は、既存のデータベースファイルを読み込みます。

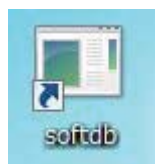


図 2-1



図 2-2

図 2-3 は、softdb アプリケーションを実行した画面です。

### 3. データベースの構成

このデータベースは、ソフトウェアテーブルと、PC テーブルで構成されています。

ソフトウェアテーブルの項目は、ID、ソフトウェア整理番号、ソフトウェアメーカー名、ソフトウェア名、パソコン番号、ライセンス管理者、ライセンス数の7項目です。

PC テーブルは、ID2、パソコン番号、利用者、パソコン型番、パソコン名、mac アドレス、IP アドレス、設置場所、パソコン管理者の9項目です。



図 2-3

#### 4. データの登録

ソフトウェアメーカー名はプルダウンメニューから選択します。ソフトウェア名のプルダウンメニューには、選択したメーカーのソフトウェア名がプルダウンメニューに表示されます(図 4-1, 図 4-2, 図 4-4)。

各項目を入力後、登録ボタンを選択(図 4-3)すると、テーブルに入力情報が表示されます。この時、PC テーブルのパソコン番号項目にソフトウェアテーブルで入力した値が表示されます(図 4-5)。

ただし、同一番号の PC 番号がすでに表示されている場合は、PC 番号は表示されません(図 4-7)。

PC のデータ登録については、PC 番号が表示されたテーブル項目に直接入力します。(図 4-6)

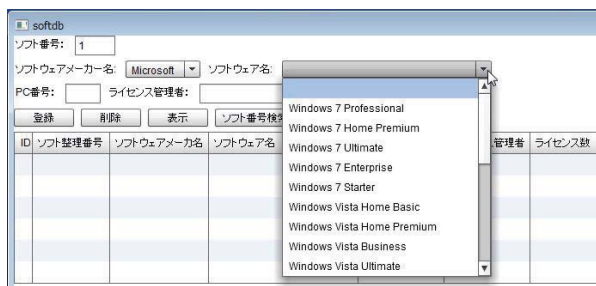


図 4-2

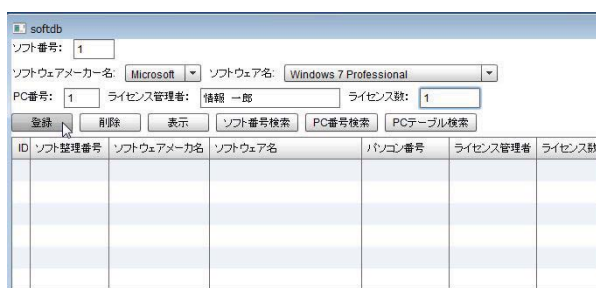


図 4-3

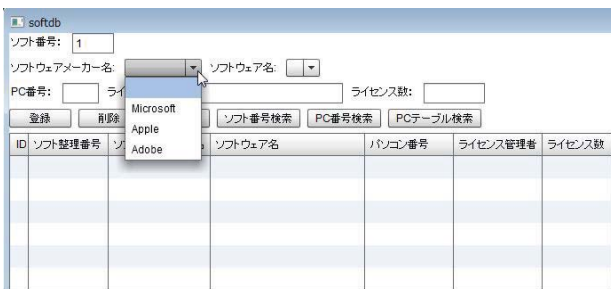


図 4-1



図 4-4



図 4-5



図 4-6



図 4-7

### 5. データの変更

入力データを変更する場合は、変更するテーブルの項目データを選択し修正します(図 5-1)。

ソフトウェアメーカー名を変更すると、当該メーカーのソフトウェアを選択することができます。

ただし、ソフトウェアメーカー名を選択しなければソフトウェア名を変更することはできません(図 5-2)。



図 5-1

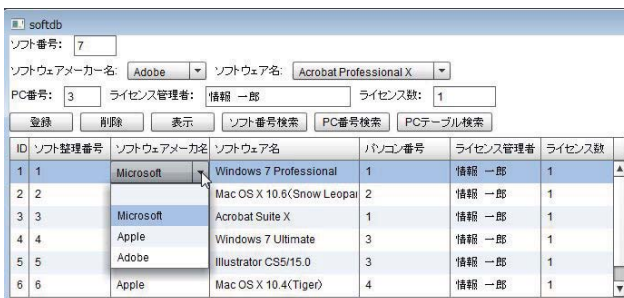


図 5-2

### 6. データの削除

削除したい ID (ソフトウェアテーブル) または、ID2 (PC テーブルの番号を選択し、削除を選択するとデータを削除することができます(図 6-1)。

図 6-2 は ID7 の項目を削除した例です。



図 6-1



図 6-2

### 7. データの検索

ソフト番号または PC 番号の項目を入力し、ソフト番号検索、PC 番号検索を選択すると当該ソフトまたは、PC の該当する項目が表示されます(図 7-1, 図 7-2)。また、ソフトウェアテーブルで、PC 項目を選択し、PC テーブル検索を選択すると、PC テーブルに該当する PC 情報が表示されます(図 7-4)。

表示を選択すると、登録したデータ一覧が表示されます。(図 7-3)



図 7-1



図 7-2



図 7-3



図 7-4

### 8. テキストデータ出力

ソフトデータ出力または、PC データ出力を選択すると、登録した情報がカンマ区切りのテキストデータで出力することができます。

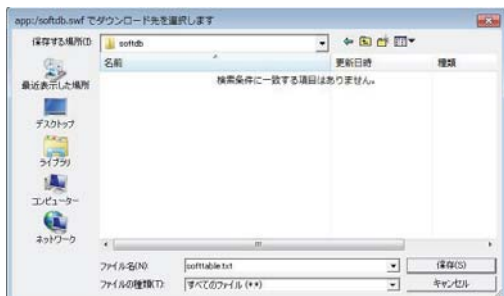


図 8-1



図 8-2 ソフトウェアテーブルデータ



図 8-3 PC テーブルデータ

### 9. まとめ

AIR アプリケーションのデータベースを用いることにより、個々にデータ管理が行え、管理しているデータを CSV 形式で取り出すことができます。取り出したデータについても本 DB で一括管理することも可能です。

今後の改良として、ソフトウェアメーカー名を選択しないとソフトウェア名変更できないこと。

また、本例では、ソフトウェア情報はスクリプトの中に組み込まれているので、外部データとしてソフトウェアデータをインポートできるように改良を考えています。

ソフトウェア情報のインポート機能を追加することにより、個々のユーザは最新のソフトウェア情報を容易にデータベースに取り込むことが可能になるため、最新のソフトウェア情報でソフトウェアを管理することができます。

### 参考文献

- 1) はじめての Adobe AIR プログラミング  
株式会社工学社
- 2) [http://www.atmarkit.co.jp/fwcr/rensei/air02/air02\\_1.html](http://www.atmarkit.co.jp/fwcr/rensei/air02/air02_1.html)